（別紙５）

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	おれんじ坂口

公表日　2026年　5月　21日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	1	・面積基準を満たしており、適切に設定されています。また、活動スペースを確保するため、家具の配置を最小限にするなどの工夫を行っています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	6	2	・職員配置数は基準人数に基づいて配置しています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	2	・フリールームの床全体にクッション材を敷き詰め、ケガ防止の配慮をしている。 ・学習、活動、遊びの場を考慮し配置している	現在は車いすの利用者様の利用はない為バリアフリー化の必要性はないが、利用するようになれば、段差がある箇所があるので見直しが必要です。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8		・毎日の清掃を徹底し、子どもたちがなるべく広い空間で遊べるように環境整備を行っています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		・状態が不安定な利用者が安心して過ごせる一定の場所がある。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7	1	・定期的にミーティングを開催しています。また、その時々で話し合いをしています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	2	・保護者向け評価表は職員全員が見て把握しています。意見を参考に話し合い、必要な事柄は早めに対応しています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		・月に一度のミーティングの際、意見交換を行い、支援に役立てている。 ミーティング以外にも毎日の終礼時に、気になった事等の話し合いをしています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	3		現時点では第三者評価を実施していません。重要事項説明書にその旨記載しています。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8		・外部研修に参加したり、事業所内で研修を設けています。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8		事業所の支援5領域を作成し、個別支援計画に表記、ホームページでも公表しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	1	現場職員と管理者とそれぞれの意見を取り入れ、保護者様との話なども参考に、放課後等デイサービス計画を作成しています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		計画は、児発管だけでなく支援に関わる職員全員で情報を共有し、共通理解のもと、利用者様の最善の利益を考えて作成しています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか 。	6		職員間で共有しており、全員が内容を確認したうえで、計画に沿った支援を行っています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		・法人内で標準化されたアセスメントシートを用いて利用者様の状況を把握しています。また、日々の様子・遊び・行動の観察を行い、利用者様の行動や状態を記録表に記入し、終礼で職員間で共有しています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8		・計画はガイドラインの４つの視点を踏まえ、必要な項目と具体的な支援内容を適切に設定しています。	

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	1	・週ごと・月ごとの活動や長期休み中の予定は、職員間のミーティングで話し合い、計画・決定しています。	ミーティングに参加できない職員がいることで情報共有に漏れが生じることがあるため、議事録の回覧や口頭での伝達に加えてLINEなどのツールを活用し、全職員が確実に情報を受け取れる体制を整えます。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		・活動が固定化しないよう、内容や取り組み方を工夫し、利用者様の興味や季節に合わせてプログラムを変えています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	1	・利用者様の状況に応じて、個別活動と集団活動を適切に組み合わせて計画を作成し、その内容に沿って支援を行っています。	下校時間がバラバラなため、下校が遅い利用者様は放課後の活動時間が十分に確保できないことがあります。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	4	・打ち合わせの代わりに、連絡票へ引継ぎ事項・連絡事項を記載し、日報には役割分担を明記することで、情報を分かりやすく共有しています。	・出勤時間がバラバラなため、支援開始前の打ち合わせは行っていません。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有しているか。	9		・利用者様全員の行動の様子を終礼にて話し合い共有している	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9		・日々の利用者様の行動、状態を記録表に記入している	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		・定期的にモニタリングを行い、利用者様の状況に応じて放課後等デイサービス計画の見直しが必要かを判断し、適切に更新しています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「４つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	6	1	・４つの基本活動を組み合わせ、生活スキル向上のための身支度・感情調整の支援、毎月の創作活動、図書館等の地域交流、外遊びや散策などの運動活動をバランスよく行っています。	・放課後の限られた時間の中では、下校が遅い利用者様には活動を十分に提供できない場合があります。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7	1	利用者様が自分で選びやすいよう遊びファイルを用意し、そこから希望を選んで職員に伝えられる仕組みにしています。 ・決められた活動だけでなく自由時間も設け、自分で「何をしたいか」を考えて選択し行動できるよう支援しています。	・利用者様が自己選択しやすいよう活動カード等を用意して支援しているが、提示方法にばらつきがあり、統一した関わり方が課題となっている。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9		児童発達支援管理責任者が出席し、日頃の終礼で共有された記録をもとに利用者様の状況を正確に伝えています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	1	・必要に応じて、地域の保健・医療・福祉・保育・教育等の関係機関と情報共有を行える体制を整えています。	・関係機関との情報共有の頻度やタイミングにはケースにより差があり、病院や学校との共有のための時間調整が難しく、円滑な連携が十分に行えない場合がある。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	9		行っています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	8		・相談支援専門員を通して情報共有を行い、相互理解に努めています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4		・移行する際には、これまでの支援内容や利用者様の状況について、必要に応じて情報提供を行っています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか 。	7		行っています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	3	・図書館や児童館の利用、年に1回の事業所イベントを通して、地域のこどもとの交流や活動の機会を設けています。	・地域との交流機会はあるが頻度が少なく、今後は回数を増やしていく必要がある。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6		・牧之原市のこども部会に参加しています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		日頃から保護者様と利用者様の状況について情報共有を行い、発達の状況や課題について共通理解を図っています。必要な情報はLINEでこまめにやり取りし、送迎時にも情報交換を行っています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント･トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	1	保護者様の気持ちに寄り添いながら、課題の解決に向けて助言等を行っています。また、必要に応じて研修等の案内も行い、家族支援に努めています。	・働いている保護者様が多く、研修会等を平日に実施する場合には参加が難しい状況があります。

保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	1	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について、契約時に説明を行っています。	・運営規程や支援プログラム、利用者負担等については契約時に説明しているが、一度のみの説明であるため、内容が十分に定着しにくい場合がある。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8		行っています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか 。	7		放課後等デイサービス計画を提示し説明を行い、保護者様の同意を得ています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		半年に一度の面談を通して、必要に応じて子育ての悩み等に対する助言・支援を行っています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	5	1	保護者勉強会の実施や年に1回の事業所イベントを通して、保護者様やご家族、地域の方にも参加いただき、交流の機会を設けています。	・保護者会の開催を計画しているが、働いている保護者様が多く平日開催では参加が難しい状況がある。また、事業所イベントについては周知の広がりが十分でなく、地域の方の参加拡大が課題となっている。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8		・苦情についての案内は契約時に説明しています。事業所内に苦情受付の案内を掲示しており、法人の苦情解決に関する規定にのっとって迅速に対応します。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8		・月に一度広報誌を発刊して、活動や行事等お知らせしています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8		・利用者様には契約時個人情報の開示についてアンケートをお願いしており、職員は雇用時退職時に契約書を提出してもらっています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	1	・個々に合わせた、適した方法で伝達を行っていますが、意思疎通の難しい利用者様には、ご家族を通して意思の確認をすることもあります。	・時間的な制約で十分なコミュニケーションが取れないこと、また職員間の情報共有不足により対応が統一されないことが課題です。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6		・年に1回、イベントを実施し、地域に開かれた事業運営に取り組んでいます。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	1	それぞれのマニュアルを作成し周知しています。	すべてのマニュアルに基づく訓練が十分に実施できていない点が課題です。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		年に２回の避難訓練を実施しています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7		契約時に事前に確認しています。 服薬の変更等、定期的に保護者様に確認させていただいています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		・現在、食物アレルギーの該当者はいません。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		・緊急時対応マニュアルに基づき、行っています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	5		・ご家族との情報共有のもと、リスクに配慮した安全管理を行っています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9		・ヒヤリハットは報告書に記録し、職員全員が確認しています。また、ミーティング時に改めて共有し、再発防止に向けた検討を行っています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		・事業所全体の研修を行い、参加者は学習内容の報告書を提出しています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5		やむを得ず身体拘束等が必要となる利用者については、リスク対応表を用いて保護者へ事前に説明し、了承を得ています。	